

センター通信

『自分の身を守る人に』



伊丹市 P T A 連 合 会
愛護厚生委員長 中谷 政美

今年は、阪神・淡路大震災から20年の節目を迎えました。この20年の間に記憶に残る様々な自然災害や事件があり、近年は「想定外の～」という言葉をよく耳にするようになりました。

もちろん、自然の前では人間の力は儼^{はかな}いくらい微力なので、ここではそれ以外のことについて書かせていただきます。

昨年、通り魔（無さべつ）殺傷事件が過去最多となり、最近では、危険ドラッグによる事件・事故も多発しています。いつもと同じように生活をしていても、これらのような事件・事故はいつ自分の身に起こるかわかりません。人は、自分が想像している以上のことに遭遇^{もつぐ}した時、慌ててしまい平常心でいることができなくなります。犯罪が多種多様化している現代においては、「想定内」のことではなく常に「想定外」のことが起きると、危機感をもって生活することも必要なのだと感じます。

私は、子どもが小さな時から、人目に付きにくい場所や人通りの少ない通りには近付かないよう教えてきました。また、連れ去りに会わないよう、停車している車があれば必ず車から離れた場所を通るようにも教えてきました。その結果、少々慎重すぎる子になりましたが、自分の身は自分で守れるようにと思い、今でも時々子どもたちと気を付けることや場所を確認し合っています。

以前は、気になる子どもを注意してくれるおじさんやおばさんが周囲にいました。大人の目が、絶えず子どもたちに向けられていました。しかし、地域社会の変遷とともに、いつの間にかそうしたおじさんやおばさんはほとんど見られなくなりました。地域の教育力低下が懸念される中、少年補導委員や自治会関係者など献身的な活動をされている方々があります。子どもたちはいろんな人の支えがあって成長していくものだと思います。私も、PTA 活動を通して、気になる子には積極的に声かけをすることの大切さを実感し、できるだけ実践しています。

そのような大人とのかかわりの中で、子どもたちは「自分の身を自分で守る」力をつけていけるのではないのでしょうか。これからも、大人として学ぶ姿勢を大切に、社会環境や子どもたちの変化を感じながら、子どもたちにかかわっていきたいと思っています。

平成26年度「青少年を取り巻く環境実態調査」を実施(11~12月)

インターネットをはじめとする情報化の急激な進展や深夜営業の増加に伴い、青少年を取り巻く社会環境は非常に厳しい状況になっています。兵庫県では、こうした社会環境の変化に対応し、青少年の健全な育成を阻害するおそれのある行為から未来を担う青少年を保護するため、県青少年愛護条例に基づいて、県民が協働した取り組みを進めています。

今年度も、「青少年を守り育てる県民スクラム運動」の一環として、地域の青少年を取り巻く環境の実態把握と対象業者などへの要請等を行い、青少年愛護条例の適正な運用を図り、青少年の健全育成に資することを目的に、少年補導委員の協力のもと、平成26年11月、12月の2ヶ月間、伊丹市内17小学校区で「青少年を取り巻く環境実態調査」を実施しました。

実態調査の結果は以下のとおりです。

- ① 図書類販売店(コンビニ等含む) → 78店舗
- ② ビデオレンタル店 → 7店舗
- ③ がん具類等取扱店 → 3店舗
- ④ カラオケハウス → 4店舗
- ⑤ インターネットカフェ・まんが喫茶等 → 7店舗
- ⑥ 携帯電話事業者等 → 23店舗
(携帯電話インターネットサービス提供事業者等)

合計122店舗(施設)の調査を実施しました。

閉店は、携帯電話取扱店1店舗のみでした。新設店舗は図書類販売店2店舗でした。業者指導については、少年補導委員が店舗を訪れた時に、不審な点については質問をし、報告をいただきました。

今回の調査の結果、指導の必要性があると考えられる店舗はありませんでした。伊丹市においては、図書類等収納自販機、利用カード等収納自販機は見当たりませんでした。

新たに20店舗が「青少年を守る店」協力店に!

11月からの「環境実態調査」と併せ「青少年を守る店」協力店の拡大活動を少年補導委員にお

2月の主な行事

- 3日(火) 阪神地区青少年補導センター連絡会
- 4日(水) 合同教育相談
- 6日(金) 兵庫県青少年補導委員連合会会長会
- 9日(月) 伊丹市少年補導委員連合会
役員会・定例理事会
- 10日(火) 少年を守る日(市内広報)
- 12日(木) 第3回愛護補導連絡会

願いました。青少年を温かく見守り、健全育成を図るための「青少年を守る店」運動の趣旨にご理解、ご賛同いただいた店舗が新たに20店ありましたが、全体では3店減少し、520店舗となりました。今後も青少年への「愛の一声」をよろしく願います。

伊丹市少年育成協会新年交歓会

平成27年1月10日(土)に伊丹市立産業・情報センターにおいて、伊丹市少年育成協会(北嶋一郎会長)の新年交歓会が開催されました。伊丹市少年育成協会は、市内の少年の非行防止と善導を行い、社会環境の浄化を図り、少年健全育成を期することを目的に、昭和41年に設立されました。

今年も行澤副市長をはじめ、山内市議会議長、築添伊丹警察署長、木下教育長等のご来賓と、会員になっていただいている自治会長、法人・団体会員、また少年補導委員や小・中学校の学校長、生徒指導担当教員等の普通会員、総勢148名の参会を得て、盛大に開催されました。

◆街頭補導の件数 《平成27年1月》

	幼小	中	高他	大人	計
声かけ・会話等	499	76	67	58	722
遊びに関して	15	11	4	0	30
ぐ犯・不良行為	0	3	2	0	5
交通に関して	13	16	35	88	152
計	28	30	41	88	187

◆電話・来所相談の件数 《平成27年1月》

	件数	前月比	累計
電話相談	2	-1	113
来所相談	0	-1	26

◆白ポスト回収状況 《平成27年1月》

	数量	前月比	累計
有害図書	318	+171	
有害AV	470	+47	
計	788	+218	7,293

白ポスト設置場所(市内16箇所)

車塚公園・阪急稲野駅・南センター・阪急新伊丹駅・阪急伊丹駅・いたみホール
バラ公園バス停・荒牧バス停・北センター・中野西公園・裁判所前・山田バス停
女性児童センター・JR伊丹駅1F・JR北伊丹駅南口駐輪場・西桑津バス停

- 13日(金) 兵庫県青少年補導センター連絡協議会
会所長会・研修会
- 17日(火) 伊丹市少年進路相談員連絡会
- 18日(水) 伊丹市青少年を守る店連絡協議会
第3回役員会
- 19日(木) 合同教育相談
- 20日(金) 第2回阪神地区青少年補導委員
連絡協議会役員会
- 24日(火) 有害図書回収

※「センター通信」へのご意見ご感想を、伊丹市立少年愛護センター(Tel: 780-3540)までお寄せください。